

第42回舞鶴学童柔道大会開催について

舞鶴柔道連盟
会長 畠山 一男

猛暑の候、各先生におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本連盟の行事に際し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて来る令和5年9月24日（日）第42回舞鶴学童柔道大会を下記のとおり開催しますので多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

- 1 日 時 令和5年9月24日（日）
午前8時30分開場 午前9時30分開始
- 2 会 場 舞鶴文化公園体育館 柔道場 Tel (0773) 77-1850
舞鶴市上安久420番地（日星高校裏）
- 3 主 催 舞鶴柔道連盟
- 4 後 援 京都府柔道連盟、舞鶴市教育委員会、舞鶴市スポーツ協会、
京都新聞社
- 5 協 力 京都舞鶴柔道クラブ、松ヶ崎柔道教室、西舞鶴柔道教室
- 6 申込締切 **令和5年9月1日（金）必着**（郵送のみ受け付けます。申込
期限以降は受け付けいたしませんのでご注意ください。）
- 7 申込先 〒624-0909
京都府舞鶴市天台新町65 大田 正夫 宛
(必ず封筒表に「学童大会申込書在中」とご記入ください。)

8 大会要領

(1) 出場資格

出場資格は、令和5年度全日本柔道連盟に登録をしている者に限る。

また、氏名写真等を新聞やHP上に掲載されることに本人、保護者ともに同意している者。

保護者の責任において出場し、健康上及びその他支障のある者は出場させない。また未就学児童は不可とする。

(2) 試合方式

団体戦：上級の部及び下級の部によるトーナメント

オーダー表は事前に準備し大会当日に提出する。ただし当日の欠席等で変更がある場合のみ当日変更を受け付ける。

個人戦：学年別によるトーナメント（3名以下の場合はリーグ戦）

（1年生～4年生は男女混合、5年生、6年生は男女別）

(3) 団体戦チーム構成

(ア) 各団体上級の部及び下級の部の参加チームは1チームまでとする

(イ) 各チーム監督1名、選手5名、補欠（各学年）1名の9名とする。

（選手人数不足の場合は欠員で構わないものとする）

(ウ) 上級の部は、先鋒4，5年生、次鋒4，5年生、中堅5，6年生、副将5，6年生、大将6年生とする。

下級の部は、先鋒1，2年生、次鋒1，2年生、中堅2，3年生、副将2，3年生、大将3年生とする。

(4) 試合方法

(ア) 試合は、国際柔道連盟試合審判規定、少年大会特別規定による。

(イ) 試合時間は、団体戦・個人戦共に2分間とする。

(ウ) 団体戦の判定基準は、技あり・指導差1以上とし、勝数・得点と同じ場合は代表戦を1回行う。代表戦の試合時間は2分間とし、勝敗が決しない場合は僅差判定により勝敗を決する。GSは行わない。

（代表は本戦で引き分けのところから抽選で決定する。）

(エ) 個人戦の判定基準は、技あり・指導差1以上とし、差がない場合は僅差判定により勝敗を決する。GSは行わない。

(5) 表 彰

団体戦、個人戦とも優勝、準優勝、第3位とする。

(3位決定戦は行わない。)

(6) 負 傷

試合中の負傷に対する応急手当は行いますが、それ以外の処置・責任は各団体でお願いします。

なお、本大会中の負傷に対する傷害保険に加入しておりますので、保険手続きに際し、団体・保護者に連絡する場合があります。

9 参加料

- ・団体戦1チーム 2000円 個人戦1名 500円
- ・振込のみの受付とし、当日支払いはできません。
- ・当日欠席の場合の返金はいたしませんのでご了承下さい。

10 お願い

- (ア) 各団体1名以上の審判員のご協力をお願いいたします。
- (イ) 個人戦の申込みは、学年ごと実力順で記入してください。
- (ウ) 当日団体戦オーダー表を試合開始までに本部へ提出してください。
- (エ) 脳震盪の対応について選手及び指導者は下記事項を遵守してください。
 - (a) 大会前1ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ることが必要です。
 - (b) 大会中に脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することはできません。(なお、至急専門医の診察及び検査を受けてください。)
 - (c) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、再開の許可を得ることが必要です。
 - (d) 当該選手の指導者は必要に応じて大会運営部または、舞鶴柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出してください。
- (オ) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任者において確認してください。感染の疑いもしくは判明した選手は大会への出場を禁止します。

1 1 問合せ

舞鶴柔道連盟 大会運営部 大田 正夫

090-9613-0055

(携帯ショートメールでも大丈夫です。)

舞鶴柔道連盟 HP



お 願 い

本大会は、身体的にも、精神的にも発育途上の小学校児童の大会であることを常に念頭においていただき、特に危険防止について考慮してください。また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢・組み方についても御配慮、御指導をよろしくお願いします。